

# 入札公告

次のとおり一般競争入札（総合評価落札方式）を行うので、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会契約事務取扱規程第5条の規定により公告する。

入札参加者は、この公告のほか、契約締結に必要な条件を熟知のうえ、入札を行うこと。

2023年6月8日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会  
事務総長 石毛 博行

記

## 1 発注の内容

業務名称	2025年日本国際博覧会「国際参加国会議（IPM2023秋）」運営業務（概算契約※）
業務所管所属	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 国際局国際部企画課
業務種別	国際会議の企画・運営等
履行場所	別紙仕様書のとおり
履行期間	契約締結の日から2024年2月29日まで
入札保証金	免除
落札方式	一般競争入札（総合評価落札方式）
予定価格の公表	事前公表 入札書比較予定価格：27,091,379円（税抜き）
最低制限価格の公表	最低制限価格制度の採用なし
支払い条件	一括払い （※仕様書P3に定める査証取得支援業務、P4およびP6に定める昼食・夕食（飲料込）提供部分については「12 契約書（案）」第45条および「12-2 契約書別紙」に定める概算契約とする。）
契約不適合責任期間	設定あり

## 2 入札手続き及び発注スケジュール

(1) 入札説明書等交付	交付	2023年6月8日(木)から
	交付方法	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会ウェブサイト(以下「協会ウェブサイト」という。)により行う。 (アドレス <a href="https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/">https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/</a> )
(2) 仕様書及び参加資格通知の提供	受付期間	2023年6月8日(木)から2023年6月16日(金)午後4時まで
	方法	仕様書の提供希望者は、電子メール(アドレス keiyaku@expo2025.or.jp)により、一般競争入札(総合評価落札方式)参加申請書(様式2)、入札参加資格保持誓約書(様式3)、守秘義務誓約書(様式4)、仕様書提供申込書(様式5)、持続可能性の確保に向けた取組状況について(チェックシート)(様式11-1)を添付し、申込みを行うこと。 協会は、上記申込者へ仕様書及び「入札参加資格通知」を電子メールにて送付する。 ※電子メール表題に「【仕様書提供申込】2025年日本国際博覧会「国際参加国会議(IPM2023秋)」運営業務」と記載すること。 ※提供資料は、本件の入札のためにのみ使用することとし、提供資料の複製は禁ずる。 ※本件入札手続き完了後、落札候補者以外の借用者は速やかにデータを処分すること。
(3) 質問	受付期間	2023年6月8日(木)から2023年6月19日(月)午後4時まで
	質問方法	電子メール(アドレス keiyaku@expo2025.or.jp)により行うこと。 ※口頭、持参、電話、FAXによる問い合わせは不可 ※電子メール表題に「【質問】2025年日本国際博覧会「国際参加国会議(IPM2023秋)」運営業務」と記載すること。 また質問は「質問票」(様式6)に記載して添付すること。 ※協会への質問送信後、電話でのメール到達確認は不要とする。 ※質問内容には、入札参加者名を特定できる内容を記載してはならない。 ※質問内容に入札参加者名を特定できる内容の記載がある場合、当該質問に対する回答は行わない。 ※質問回答は、質問者全員に対しメール送信により行う。 ※受付期間以外に登録された質問に対する回答は行わない。

	回答期日	2023年6月22日(木)
(4) 入札書及び提案書 ※指定日時までに到着するよう郵送すること。	入札書及び提案書の提出	2023年7月4日(火)午後4時必着
	入札・提出方法	郵送 ※提出書類は郵送するものとし、持参又は電送は認めない。
	入札回数	1回
	提出先	「6 手続き先・問い合わせ先」を参照
	留意事項	ア 郵送以外による入札(持参、電送)は認めない。 イ 入札書は封筒に入れ、封筒に封印、封かんし提出すること。 ウ 入札書には、消費税及び地方消費税を加算する前の額を記載すること。 エ 特定記録等の配達状況を追跡できるもので郵送すること。 オ 一度受理された封書の引換、変更または取り消しはできない。
	入札参加の辞退	ア. 入札参加者は、「入札参加資格通知」を受けた後から入札書を提出するまで、入札参加を辞退することができる。ただし、入札書の提出後は、辞退することができない。 イ. 入札参加を辞退するときは、辞退届(様式10)を提出しなければならない。 ウ. 辞退届を提出後は、当該辞退届を撤回できない。 エ. 入札参加を辞退した者は、入札参加申請の期間中であっても、当該入札には再度申請することができない。
	入札の無効	入札参加資格のない者及び虚偽の申請を行った者が提出した入札書又は入札公告等において示した条件等入札に関する条件に違反した者の提出した入札書は無効とする。 次のいずれかに該当する入札は無効とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・期限までに到達しなかった封書</li> <li>・封書が2通以上のとき。</li> <li>・入札書に記名押印がないとき。</li> </ul> なお、入札時点において入札参加資格のない者の提出した入札書は無効とする。また、無効の入札書を提出した者を落札者としていた場合には落札決定を取り消す。
落札候補者の決定方法	有効な入札を行った者のうち、入札金額が予定価格の制限の範囲内で、入札公告に添付の「17. 評価手順書」に記載された方法で評価し、計算し得た総合評価点が最も高かった者を落札候補者とする。	

		総合評価点が最も高い者が2人以上あるときは、技術点の高い者を落札候補者とする。この場合において、技術点及び価格点ともに同点である者が2人以上あるときは、くじにより落札候補者を定めるものとする。
(5) 評価審査会	実施時期	2023年7月5日（水）及び2023年7月6日（木）
	評価基準	評価点は、入札公告に添付の「16. 評価項目一覧」に記載した評価の観点から決定する。
	評価委員	評価審査会は、外部有識者3名の評価委員をもって構成する。評価委員名は、審査の公正を期するため、本件入札契約手続完了後、協会ウェブサイトにて公表するものとする。
(6) 開札	開札日時	2023年7月7日（金）午後4時
	開札場所	大阪市住之江区南港北1丁目14-16 大阪府咲洲庁舎43階 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
	留意事項	技術点及び価格点ともに同点である者が2人以上あるときは、くじにより落札候補者を定めるものとする。くじは、協会の当該入札事務に関係のない職員が行うものとする。 なお、くじ番号は協会が入札参加者に対し任意に付与するものとし、付与された番号は入札参加者へメールにより通知する。
(7) 落札候補者の資格審査	事後審査 落札者決定	総合評価の結果、落札候補者になった者には、協会から電話又はメールにより通知する。
	事後審査資料提出期限	落札候補者になった通知を受けた日の翌々営業日の午後4時まで
	提出方法	郵送または持参により提出すること。
	留意事項	ア 資格審査は落札候補者にのみ開札後実施する。 イ 落札候補者には開札後「5 提出書類一覧（3）事後審査時に提出するもの」の審査資料を提出するよう、協会から電話又はメールにより通知する。 ウ 通知を確認しなかったことによる、落札候補者が被った損失について協会は一切の責めを負わない。 エ 資格審査の結果、提出した入札書が無効となった場合は、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札書を提出したほかの者のうち、総合評価点の次順位者に対し改めて資格審査を行う。
(8) 落札決定	書類審査	2023年7月上旬（予定） 落札候補者の事後審査により、資格確認後、速やかに落札決定を行う。

(9) 入札結果の公表	公表時期	2023年7月上旬（予定）
	公表方法	落札決定後、入札参加者名・入札状況及び入札結果については協会ウェブサイトにて公開する。

### 3 入札参加資格

一般的事項	<p>次に掲げる要件をすべて満たす企業であること。</p> <p>(1) 次の一から三までのいずれにも該当しない者であること。</p> <p>一 当該公募に係る契約を締結する能力を有しない者</p> <p>二 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者</p> <p>三 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者</p> <p>(2) 主たる事務所の所在地の都道府県における最近1事業年度の都道府県税に係る徴収金を完納していること。</p> <p>(3) 消費税及び地方消費税を完納していること。</p> <p>(4) 経済産業省又は大阪府もしくは大阪市から補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている者でないこと。</p>
-------	---

### 4 交付書類一覧

	交付	名称	交付方法
入札公告	○	1 入札公告	協会ウェブサイトよりダウンロード  (※) 2 入札手続き及び発注スケジュール (2) 仕様書及び参加資格通知の提供により交付
	○	2 一般競争入札（総合評価落札方式）参加申請書	
	○	3 入札参加資格保持誓約書	
	○	4 守秘義務誓約書	
	○	5 仕様書提供申込書	
	○	6 質問票	
	○	7 入札書	
	○	8 委任状	
	○	9 使用印鑑届	
	○	10 辞退届	
様式関係	○	11-1 持続可能性の確保に向けた取組状況について（チェックシート）	

	○	11-2 持続可能性の確保に向けた誓約書	
契約関係	○	12 契約書（案）	
	○	13 暴力団排除条例に基づく誓約書	
仕様書	○	14 仕様書（※）	
総合評価関係	○	15 応札資料作成要領	
	○	16 評価項目一覧	
	○	17 評価手順書	
	○	18 提案書ひな型	

## 5 提出書類一覧

### (1) 仕様書提供申込時により提出するもの

書類名称	備考
一般競争入札（総合評価落札方式） 参加申請書	様式 2
入札参加資格保持誓約書	様式 3
守秘義務誓約書	様式 4
仕様書提供申込書	様式 5
持続可能性の確保に向けた取組状 況について（チェックシート）	様式 11-1

### (2) 入札時により提出するもの

書類名称	備考
入札書	様式 7
委任状	様式 8
使用印鑑届	様式 9
印鑑証明書（原本）	発行日から 3 ヶ月以内のもの
提案書	入札公告に添付の「18. 提案書ひな型」を参考に作成のこと。（正本 1 部、副本 3 部（副本については、企業名及び社章等応募者が特定できる内容の記入を削除すること。）また、電子媒体（CD-R 等）でも提出すること。

評価項目一覧	様式 16 (該当する提案書のページを記載すること) (正本 1 部、副本 3 部 (副本については、企業名及び社章等応募者が特定できる内容の記入を削除すること。)) また、電子媒体 (CD-R 等) でも提出すること。
--------	--

(3) 事後審査時に提出するもの

※ (2) 入札後、提出する審査資料 (落札候補者のみ提出)

書類名称	備考
持続可能性の確保に向けた誓約書	様式11-2
暴力団排除条例に基づく誓約書	様式13
登記関係書類等 (写し)	登記(履歴または現在)事項全部証明書 (1 部) ・発行日から 3 カ月以内のもの。
本店管轄の都道府県税の納税証明書 (写し)	全税目の「都道府県税及びその附帯徴収金に未納の額のないこと」の納税証明書が必要です。(金額等が記載された証明書ではありません。) ・発行日から 3 カ月以内のもの
本店管轄の税務署が発行する消費税及び地方消費税の納税証明書 (その 3) (写し)	「消費税及び地方消費税について未納の額のないこと」を証明するもの ※証明様式：その 3 (その 3 の 2、その 3 の 3 でも 可) ・発行日から 3 カ月以内のもの
財務諸表 (写し)	貸借対照表・損益計算書 ※連結決算の場合は単体分が必要です。

## 6 手続き先・問合せ先

内容	手続き先・問合せ先
入札契約関係	〒559-0034 大阪市住之江区南港北 1 丁目14-16 大阪府咲洲庁舎43階 公益社団法人 2 0 2 5 年日本国際博覧会協会 総務局調達部契約課 <u>e-mail : keiyaku@expo2025.or.jp (担当：池、榊)</u> ※ご連絡はメールにてお願いします。

## 7 契約手続等

### (1) 誓約書

落札者は、大阪府暴力団排除条例 (平成22年大阪府条例第58号) 第11条第 2 項に規定する暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書を、落札決定後速やかに「入札公告」に示す提出先へ提出 (郵送又は持参) しなければならない。誓約書を提出しないときは協会は契約を締結しない。また、誓約書を提出しない入札参加資格者に対し、入札参加停止等の措置

を行う。

(2) 契約書

協会では、受発注者双方のコスト削減及び効率化の観点から、電子契約サービス『CECTRUST-Lightサービス』による電子契約を推進している。手続き方法の詳細については、落札者に対し、協会から案内する。

落札者は、落札決定の日の翌日から起算して10日以内に電子契約の手続きを完了しなければならない。但し、協会の承諾を得た場合は、この期間を変更することができる。落札者が期間内に電子契約の手続きを完了しないときは、落札者としての権利を失い、協会は契約を締結しないことがある。

(なお、紙での契約書作成を希望する場合は、契約書に記名押印する方法とし、期間等については電子契約と同様の取扱いとする。)

(3) 契約保証金

ア 契約相手方は、この契約の締結と同時に、契約金額の100分の5以上の額の契約保証金を納付しなければならない。(現金に代えて納付される証券を含む。)

イ アの規定にかかわらず、次のいずれかに該当するときは、契約保証金の全部又は一部を免除する。

一 契約の相手方が保険会社との間に協会を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。

二 契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、その他予算決算及び会計令(昭和22年4月30日勅令第165号)第100条の3第2号の規定に基づき、財務大臣の指定する金融機関と工事履行保証契約を締結したとき。

三 契約の相手方が、過去2年の間に協会、国又は地方公共団体等と種類及び規模をほぼ同じくする契約を2回以上締結し、これらを誠実に履行し、かつ、契約を履行しないおそれがないと認められるとき。

四 契約金額の年額又は総額が150万円未満であり、かつ契約の相手方が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。

五 国、地方公共団体、その他の公共的団体と契約を締結する場合において、契約の相手方が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。

六 電気、ガス、水道、郵便、電話、公共放送の受信等公益事業に係る契約又は主務大臣が認可した契約約款に基づく保険、運送等の契約を締結しようとするとき。

七 調査、研究、計算、鑑定、評価、訴訟、点検等を委託する場合で、契約の相手方が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。

八 物品等を購入又は賃貸借する場合で、契約の相手方が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。

(3) 落札者が、契約締結の日までの間において、次のうちアに該当した者は契約せず、イに該当した者とは契約を締結しないことがある。

ア 入札参加資格に掲げる要件を満たさなくなった者

イ 契約の相手方としてふさわしくない場合

(4) (3)ア又はイにより、契約を締結しなくても、協会は一切の責めを負わないものとする。

## 8 持続可能性の確保

(1) 契約相手方は、法令の遵守、環境・人権・労働・公正な事業慣行や地域経済への配慮など幅広い持続可能性の確保に向けた取組みを推進するとともに、広く社会に持続可能性を重視する姿勢が定着するよう働きかけるものとする。

(2) 契約相手方は、本契約の履行に際し、協会が別途定める「持続可能性に配慮した調達コード」(以下「調達コード」という。)の内容の理解に努め、これを遵守しなければならない。



([https://www.expo2025.or.jp/wp-content/uploads/220630\\_procurement\\_code.pdf](https://www.expo2025.or.jp/wp-content/uploads/220630_procurement_code.pdf))

- (3) 契約相手方は、協会が契約相手方におけるサプライチェーンに対する調査・働きかけを含む調達コードの遵守に向けた取組状況について報告を求めるときは、開示・説明に努めるものとする。
- (4) 契約相手方は、協会が契約相手方による調達コードの遵守状況について協会による確認・モニタリング又は協会の指定する第三者による調査の受入れを求めるときは、これに協力するものとする。ただし、契約相手方が協力を支障のあることについて正当な理由を有するときには、この限りではない。
- (5) 協会が契約相手方による調達コードの不遵守を理由に改善措置を求めるときは、契約相手方は、改善に取り組み、その結果を協会に報告しなければならない。

## 9 実施上の留意事項

- (1) 入札に参加するための費用は、提出者の負担とする。
- (2) 提出書類又はその他の資料に虚偽の記載をした者には、入札参加停止を行うことがある。また、資格審査資料又はその他の資料に虚偽の記載を行った者が提出した入札書は無効とし、無効の入札書を提出した者を落札者としていた場合は落札決定を取り消す。
- (3) 入札書の提出者が無い場合は、入札執行を取り止める。
- (4) 入札執行の保留等又はその他入札に関する重要事項等を連絡する場合があるため、協会ウェブサイトを定期的に確認すること。なお、連絡事項を確認しなかったことによる、入札参加者が被った損失について、協会は一切の責めを負わない。
- (5) 入札の参加にあたっては、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号。以下「独占禁止法」という。）及び刑法（明治 40 年法律第 45 号）等を遵守すること。